

ティーボール

本塁プレート後方に置いた、バッティングティー（ボールを載せる台）にボールをおいて、その静止したボールをバットで打つ、野球に似たスポーツです。ティーボールと野球の大きな違いは、投手がないことです。止まっているボールを打つため、空振りがほとんどなく、誰でも手軽に「打つ楽しさ」を味わうことができます。

場所（屋内・屋外）

- 体育館・広場など

人数

- チーム対抗戦（10人～15人）

用具

- バッティングティー
- バット・ボール
- ベース



競技方法(主なルール)

● 打つルール

- (1) 審判の「プレー」の宣言のあと、ボールを打つこと。
- (2) ボールを打つとき、軸足の移動は1歩まで認められます。2歩以上動かすとストライク。
- (3) 空振りしたり、バッティングティーだけを打ったりした場合は、ストライク。
(バッティングティーとボールを同時に打った場合は、ヒットとします。)
- (4) バントやブッシュバントはありません。
- (5) 2ストライクから、ファールボールを打つとアウトになります。

● 走塁のルール

- (1) 打者がボールを打つまで、塁を離れてはいけません。違反するとアウトになります。
- (2) スライディングは禁止。違反するとアウトとなります。
- (3) 塁の駆け抜けは認められます。
※ 駆け抜けとは、次の塁に進むつもりがなければ、塁を走り抜けた後にタッチされてもアウトにならないことです。
- (4) 盗塁はありません。

● 攻守交替のルール

プレイする人の年齢やレベルによって以下から選びます。

- (1) 攻撃側の全員が一巡したとき。
- (2) 攻撃側の7人の打撃が終了したとき。
 - ・ どちらの場合も、攻守交替の時の残塁者は次回に受け継ぎます（最終回の走者はこの限りでは有りません）。
 - ・ 野球のように3アウトチェンジで行うこともできます。

★ポジションについて

- ・ 守備は10人で行い、ポジションは6人の内野と4人の外野になります。
- ・ 1チームの人数が10人をこえる場合は、打つだけの選手となります。
- ・ 本塁手は打者がボールを打つまでは、バッターズサークルの外にいること。

